

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	武雄市立東川登小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学力向上」としては、全職員がそれぞれマイプランの目標達成のために授業力向上を目指して努力することができ成果が表れた。</li> <li>「心の教育」に関しては、生活アンケートや教育相談週間の面談等の取組により、いじめの早期発見、早期対応をすることができた。今後も「学校が楽しい」と答えることができなかった子どもに焦点を当てて、組織で対応していくことを心がけていく。「ふるさとを誇りに思う教育活動」の取組は各学年ともに充実した活動を行うことができ、大きな成果が見られた。</li> <li>「健康・体づくり」に関しては、来年度も今年度と同様に体力向上・食育・防災教育ともに充実を図っていく。</li> <li>「働き方改革」に関しては、頂いた意見をもとに、今後も更なる業務改善を目指していく。</li> <li>ICT活用面では、コロナによる学級閉鎖時にリモートでの授業をしたり日常的に学習にタブレットを使う学年が多くなりたりするなど、タブレット端末を活用した取組が進んだので、次年度は職員間でノウハウを共有する機会を増やし、教育の質の向上を目指していく。</li> </ul>
------------------	--

2 学校教育目標	<p>～地域とともに学び続ける学校～</p> <p>生き抜く力の育成「やさしく かしく たくましく」</p> <p>心豊かに自ら進んで学びたくましく生き抜く子どもの育成</p> <p>【めざす子ども像】○人の気持ちによりそい子ども ○他者と協働し主体的に学ぶ子ども ○健康な心と体を維持する子ども</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>① 人権が尊重される授業づくりを基盤にして、多様性を認め合う発信型の学校を目指す。</p> <p>② 令和の日本型教育の具現化を図る。</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
				●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・ICTを活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。	○「自分の考えを持ち、相手にわかりやすく伝え、相手の考えを理解できた」と答える児童が80%以上。	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で話し合う活動を設定するとともに、タブレット活用により学習の個性化を図る。 ・児童による授業評価を年に2回行う。	・	・		・
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「相手の気持ちを考えることができる」と回答した児童95%以上、「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童90%以上。	・地域の方々や保護者参加型のふれあい道徳を実践し、人権教育との相互充実を図る。 ・児童会を中心としたアルミ缶回収等ボランティア活動をより主体性をもたせた取組として改善・充実を図る。	・	・	・	・	・	・	梶原	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「学校は楽しい。」と回答した児童90%以上。	・Q-Uアンケートや生活アンケート、教育相談週間の活用を通して、いじめに対する迅速かつ組織的対応の徹底を図る。 ・たて割り班活動の充実を図る。	・	・	・	・	・	・	川内	
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上	・児童生徒の資質・能力を育む授業づくりに関する校内研修等の実施。 ・各種体験活動では、児童生徒に活動の見通しと学びの振り返りを行う活動を仕組み、育みたい資質・能力を焦点化する。 ・教育活動全体で生徒指導の機能を生かした取り組みを実践し、キャリアサポートを活用する。	・	・	・	・	・	・	・	内田
	○地域と一体となった人権教育を進化・発展させる。	○教職員アンケートで「学校と保護者、地域が協働で人権教育に取り組んだことで、人権意識が高まったと感じる」と回答した教職員80%以上	・育てたい子ども像を教職員、保護者、地域の方と共有し、これらを入権教育の視点として学習活動に組み入れる。 ・人権教育計画を「見える化」することで有効活用を図る。	・	・	・	・	・	・	・	川内
●健康・体づくり	◎「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	◎食事・健康に関する調査用紙で「健康に良い食事をしている」と回答した児童生徒93%以上	・早寝早起き朝ごはんアンケートを実施し、日々の給食指導に役立てる。 ・委員会での給食週間の取組を充実させる。 ・定期的に保健だよりや食育だよりを発行する。	・	・	・	・	・	・	鐘ヶ江	
	○防災・安全に関する資質、能力を伸ばす取組の充実。	○災害時に自分の命は自分で守ることがまもることが大切であるとする児童が95%以上。	・年間の避難訓練や外部講師を招いての防災教室などを通して児童の防災意識を高める。	・	・	・	・	・	・	泉	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間を順守する。	・月1回それぞれの職員に自分の勤務状況を示し、勤務時間の縮減を図る。 ・「働き方改革」を推進するための協議の場を年間2回以上設定する。	・	・	・	・	・	・	教頭	

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○ふるさとを誇りに思う教育活動	○ふるさとを誇りに思う教育活動	○東川登町の自慢を答えることができた児童90%以上。	・生活科・総合的な学習の時間と関連させてゲストティーチャーを招くなど、地域の特色を生かした学習の充実を図る。	・	・	
○官民一体型教育	○地域学校協働本部を活用した教育の充実	○地域の方に教わりながら学ぶは自分のためになっていると回答した児童90%以上。	・全学年で地域学校協働本部事業計画に基づいた教育活動を意図的・組織的に学習に取り入れて実施する。	・	・	・	・	・	・	教頭

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------	---